

幼少期の運動経験が今の大学生に与える影響

市来 佳奈 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：幼少期,運動経験,大学生

1,緒言

大会で成績を残した人や有名なスポーツ選手になった人は,幼少期から運動経験を積んでいた人が多い。

また,幼少期から運動経験を積む事はその後の体力・運動能力の発達に影響を与えると証明されている.例えば,ゴールデンエイジの運動経験の重要性などである。

しかしながら,幼少期から運動経験を積んでいたすべての人が成功する訳ではない。

そこで,成功したごく一部の人のためだけでなく,競技成績以外の部分で,与える影響はないかと考え,対象を大学生に絞り研究を行うことにした。

本研究では,幼少期の運動経験が,主に競技成績以外の部分で大学生に与える影響を明らかにする事を目的とする.幼少期の運動経験とは,何らかのスポーツクラブや教室に所属していた経験とする。

2,研究方法

① 調査セッティング

アンケートの作成と依頼。

② 研究対象者

びわこ成蹊スポーツ大学に所属している学生 (50) を対象にアンケートを行う。

③ 調査項目

対人関係,礼儀,精神面と大きく3つの分野で調査する。

幼少期の運動経験があるかないかによっ

て,それぞれの結果に変化が現れるかどうかを分析する。

④ 調査時期

2013年10月から約1か月間

⑤ 調査方法

アンケート調査を実施する。

⑥ 分析方法

アンケートを集計し,まとめる。

3,結果

幼少期にスポーツチームに所属する事で,チームの中でのコミュニケーション能力の向上,挨拶の習慣,精神力の強化などの効果がみられ,それらが今の大学生に自信を与えている.幼少期に運動経験を積む事は,そうでない人に比べて,厳しい指導を受ける反面,人に認められる,褒められる機会も増える傾向にある.その事から,幼少期に自分自身に自信を誇りに感じるなどの経験が出来る人が多い.その誇りや認められたという自信が,その後の生活の中で大きな支えとなる.人間関係においても,特に自ら行動するという点において,幼少期に運動経験を積んでいる人は秀でている傾向があった.それらの事から,幼少期に運動経験を積む事は,今の大学生に自信を与えるきっかけとなる。

【引用参考文献】

1,吉田 順 (2013) 浅田真央,そしてその瞬間へ,学研マーケティング:東京

2,長友 佑都 (2012) 上昇志向一幸せを感じるために大切なこと一,角川書店:東京